日本語教育人材に必要とされる教育内容の整理（案）

「日本語教育のための教員養成について」（平成１２年３月３０日）に示された日本語教員養成において必要とされる教育内容					日本語教員【養成】に必要とされる教育内容			
					16区分の解説（案）	必須の教育内容	それ以外の項目例	追加（案）
コミュニケーション	社会・文化・地域に関わる領域	社会・文化・地域	①世界と日本	歴史	日本語教育が必要とされる社会的背景を考えるために，国際社会の実情と日本との関係，日本の社会・文化，学習者と日本との関係を理解する。	(1)世界と日本の社会と文化	歴史	グローバル社会
				文化				21世紀型スキル
				文明			文明	キーコンピテンシー
				社会				スタンダードムーブメント
				教育			教育	
				哲学			哲学	
				国際関係				
				日本事情			日本事情	
				日本文学			日本文学	
			②異文化接触	国際協力	多様な背景を持つ学習者個々に必要とされる日本語教育を考えるために，学習者が日本語を必要とするに至った経緯や，学習者と周囲との接触の状況を理解する。	(2)日本の在留外国人施策 (3)多文化共生(地域社会における共生)	国際協力	
				文化交流			文化交流	
				留学生政策				
				移民・難民政策				
				研修生受入政策				
				外国人児童生徒				
				帰国児童生徒				
				地域協力			地域協力	
				精神衛生			精神衛生	
			③日本語教育の歴史と現状	日本語教育史	学習者に適切に接する態度や学習者の背景及び将来を考えるために，日本語教育の歴史や現情，制度を理解する。	(4)日本語教育史 (5)言語政策 (6)日本語の試験 (7)世界と日本の日本語教育事情		
				言語政策				
				教員養成			教員養成	
				学習者の多様化			学習者の多様化	
				教育哲学			教育哲学	
				学習者の推移				ＣＥＦＲ
				日本語試験				ＪＦスタンダード
				各国語試験			各国語試験	
				世界各地域の日本語教育事情			世界各地域の日本語教育事情	
				日本各地域の日本語教育事情			日本各地域の日本語教育事情	
		言語と社会	④言語と社会の関係	ことばと文化	学習者の円滑な社会生活を実現するために，社会，文化，政策と言語の関係で生じる言語の有り様や社会的な行動を支える社会的・文化的慣習について理解する。	(8)社会言語学 (9)社会文化能力 (10)言語政策とことば	ことばと社会	多言語社会
				社会言語学				ダイクロシア
				社会文化能力				
				言語接触			言語接触	
				言語管理			言語管理	
				言語政策				
				言語社会学			言語社会学	
				教育哲学			教育哲学	
				教育社会学			教育社会学	
				教育制度			教育制度	
			⑤言語使用と社会	言語変種	様々な社会的状況において円滑なコミュニケーションを実現するために，社会や集団における言語・非言語行動の様相や方略について理解する。	(11)コミュニケーションストラテジー (12)待遇・敬意表現 (13)言語・非言語行動	言語変種	コードスイッチ
				ジェンダー差・世代差			ジェンダー差・世代差	ティーチャートーク
				地域言語			地域言語と共通語	やさしい日本語
				待遇・ポライトネス				
				言語・非言語行動				
				コミュニケーション・ストラテジー				
				地域生活関連情報			地域生活関連情報	
			⑥異文化コミュニケーションと社会	異文化受容・適応	異なる文化・言語を持つ人々が共存する社会の在り方を考えるために，互いの文化・言語に対する態度や異なる文化や言語を持つ人との関係構築について理解する。	(14)多文化・多言語主義	異文化受容・適応	複言語・複文化主義
				言語・文化相対主義			言語・文化相対主義	
				自文化（自民族）中心主義			自文化（自民族）中心主義	
				アイデンティティ			アイデンティティ	
				多文化主義				
				異文化間トレランス			異文化間トレランス	
				言語イデオロギー			言語イデオロギー	
				言語選択			言語選択	
		言語と心理	⑦言語理解の過程	言語理解	効果的な日本語教育を考えるために，学習者の言語情報の処理過程や学習の仕組み，学習方法の指導について理解する。	(15)談話理解 (16)言語学習	言語理解	複言語・複文化主義
				談話理解				フォーカス・オン・フォーム
				予測・推測能力			予測・推測能力	
				記憶			記憶	
				視点			視点	
				言語学習				
			⑧言語習得・発達	幼児言語	個々の学習者に合わせた日本語教育を考えるために，言語の習得過程や学習者要因，また学習効果を高める方略について理解する。	(17)習得過程（第一言語・第二言語） (18)学習ストラテジー	幼児言語	マルチリンガリズム
				習得過程（第一言語・第二言語）				自律学習
				中間言語				学習環境
				言語喪失			言語喪失	ディスレクシア
				バイリンガリズム			バイリンガリズム	ダブルリミテッド
				学習過程			学習過程	スキーマ
				学習者タイプ			学習者タイプ	状況的学習論
				学習ストラテジー				
			⑨異文化理解と心理	異文化間心理学	自文化とは異なる環境にある学習者に配慮した指導を考えるために，異文化接触によって生じる問題とその解決，また動機や不安などの心的側面について理解する。	(19)異文化受容・適応 (20)日本語の学習・教育の情意的側面		
				社会的スキル			社会的スキル	
				集団主義			集団主義	
				教育心理			教育心理	
				日本語の学習・教育の情意的側面			日本語の学習・教育の情意的側面	

日本語教育人材に必要とされる教育内容の整理（案）

「日本語教育のための教員養成について」（平成１２年３月３０日）に示された日本語教員養成において必要とされる教育内容					日本語教員【養成段階】において必要とされる教育内容			
					16区分の解説（案）	コアカリキュラム	それ以外の項目例	追加案
コミュニケーション	教育に関わる領域	言語と教育	⑩言語教育法・実習	実践的知識	学習者の日本語能力と求められる教育理念や目標を踏まえた日本語教育を考えるために，コースを設計する方法，学習項目に合わせた教授法や教材の選択，授業を組み立てるための準備，学習成果を図る観点と方法，教授能力を高めるための自他の授業分析に必要となる知識及び日本語教育を実践する力を身に付ける。	(21)日本語教員の資質・能力 (22)教育理念と実践 (23)実践的知識・能力 (24)教室・言語環境の設定 (25)ニーズ分析 (26)カリキュラム (27)コースデザイン (28)教授法 (29)教材分析・作成・開発 (30)評価法 (31)教育実習 (32)授業計画 (33)誤用分析 (34)自己点検能力 (35)授業分析 (36)目的・対象別日本語教育法		協働学習
				実践的能力				ピアラーニング
				自己点検能力				チームティーチング
				カリキュラム				ファシリテーション
				コースデザイン				アクティブラーニング
				教室活動			教室活動	パフォーマンス評価
				教授法				アクションリサーチ
				評価法				プロジェクトワーク
				学習者情報			学習者情報	ルーブリック評価
				教育実習				マイクロティーチング
				教育環境			教育環境	ティーチングポートフォリオ
				地域別・年齢別日本語教育法				
				教育情報			教育情報	
				ニーズ分析				
				誤用分析				
				教材分析・開発				
			⑪異文化間教育とコミュニーケーション教育	異文化間教育	文化の多様性を尊重し，異なる文化背景を持つ者同士の円滑なコミュニケーションを実現するために，文化を異にする者の物事のとらえ方やコミュニケーション方略について理解する。	(37)異文化間教育 (38)異文化コミュニケーション (39)コミュニケーションに関する言語間対照 (40)コミュニケーション教育		フォリナートーク
				多文化教育				やさしい日本語
				国際・比較教育			国際・比較教育	
				国際理解教育			国際理解教育	
				コミュニケーション教育				
				スピーチ・コミュニケーション			スピーチ・コミュニケーション	
				異文化コミュニケーション訓練				
				開発コミュニケーション			開発コミュニケーション	
				異文化マネージメント			異文化マネージメント	
				異文化心理			異文化心理	
				教育心理			教育心理	
				言語間対照				
				学習者の権利			学習者の権利	
			⑫言語教育と情報	教材開発	効率的で創造的な日本語教育を行うために，学習管理や教材作成等に必要となるICT活用能力及び情報リテラシーを身に付けるとともに，著作権について理解する。	(41)ICT活用能力 (42)著作権 (43)ICTにおける教材選択・作成・開発		コーパス
				教材選択				知的所有権
				教育工学			教育工学	e-learning
				システム工学			システム工学	ソーシャルメディア
				統計処理			統計処理	
				メディア・リテラシー			メディア・リテラシー	
				情報リテラシー			情報リテラシー	
				マルチメディア				
	言語にかかわる領域	言語	⑬言語の構造一般	一般言語学	学習をより効率的なものにするために，言語を分析的に観察する方法を理解し，世界の言語及び日本語を系統的・類型的に捉えるとともに，学習者の言語と日本語学習の関係を理解する。	(44)一般言語学 (45)世界の諸言語 (46)対照言語学		
				世界の諸言語				
				言語の類型			言語の類型	
				音声的類型			音声的類型	
				形態（語彙）的類型			形態（語彙）的類型	
				統語的類型			統語的類型	
				意味論的類型			意味論的類型	
				語用論的類型			語用論的類型	
				音声と文法			音声と文法	
			⑭日本語の構造	日本語の系統	日本語そのものに関する知識を学習者に正確に伝えるために，日本語を分析的に捉える方法を理解し，言語教育的な観点から多面的に整理された日本語に関する知識を体系的に身に付ける。	(47)日本語教育のための日本語分析 (48)日本語教育のための音韻・音声体系 (49)日本語教育のための文字と表記 (50)日本語教育のための形態・語彙体系 (51)日本語教育のための文法体系 (52)日本語教育のための意味体系 (53)日本語教育のための語用論的規範	日本語の系統	
				日本語の構造				
				音韻体系				
				形態・語彙体系				
				文法体系				コロケーション
				意味体系				
				語用論的規範				
				表記				
				日本語史			日本語史	
			⑮言語研究	理論言語学			理論言語学	
				応用言語学			応用言語学	
				情報学			情報学	
				社会言語学			社会言語学	
				心理言語学			心理言語学	
				認知言語学			認知言語学	
				言語地理学			言語地理学	
				対照言語学				
				計量言語学			計量言語学	
				歴史言語学			歴史言語学	
				コミュニケーション学			コミュニケーション学	
			⑯コミュニケーション能力	受容・理解能力	学習者の日本語によるコミュニケーション能力を育成するために，コミュニケーション能力に関する知識を持つとともに，日本語教育を実践する上で必要となるコミュニケーション能力を向上させる。	(54)受容・理解能力 (55)言語運用能力 (56)社会文化能力 (57)対人関係能力 (58)異文化調整能力		課題遂行能力
				表出能力			表出能力	ネットワーキング
				言語運用能力				コミュニケーション言語能力
				談話構成能力			談話構成能力	
				議論能力			議論能力	
				社会文化能力				
				対人関係能力				
				異文化調整能力				

日本語教育人材に必要とされる教育内容の整理（案）

「日本語教育のための教員養成について」（平成１２年３月３０日）に示された日本語教員養成において必要とされる教育内容					日本語教員【初任】に必要とされる教育内容			日本語教員【中堅】に必要とされる教育内容	日本語教育コーディネーターに必要とされる教育内容		日本語学習支援者に必要とされる教育内容
					「生活者としての外国人」	留学生	児童生徒等		主任教員（留学生）	地域日本語教育コーディネーター	
コミュニケーション	社会・文化・地域に関わる領域	社会・文化・地域	①世界と日本	歴史 文化 文明 社会 教育 哲学 国際関係 日本事情 日本文学	－	－	－	－	1)留学施策・入国管理制度・教育行政と，留学生の出身国の最新の動向 2) 法務省告示日本語教育機関の現状と課題 ・業界全体の動向 3) 教育機関の運営に関する基礎知識 ・組織マネジメント ・ラーニングマネジメント ・教育機関の経営 ・危機管理 ・法令の遵守 4) キャリア支援 ・留学生アドバイジング ・セルフマネジメント ・人材育成のための研修プログラムの策定 5) 地域社会と日本語学校 ・ネットワーキング 6) 日本語教育のプログラムデザイン ・教育機関の目的・目標に応じたプログラムの策定・実施・点検・評価・改善 ・社会参加を促進する教室活動 ・カリキュラム編成，クラス編成，教員の配置 ・プログラム評価，学習者評価，授業評価 ・教育機関の自己点検評価 7) 事例研究 ・問題解決能力 ・現状把握から課題設定，課題解決に向けた方略の検討	1) 在留外国人施策・入国管理制度・教育行政と，地域における外国人の出身国の最新の動向 2) 日本語教育に関わる国及び地方自治体の施策 3) 在留外国人に関連する法制度，行政サービス等の把握・整理 ４）地域日本語教育のプログラムデザイン ・課題設定からプログラムの策定・実施・点検・改善の流れ ・内省（振り返り） ５） 日本語教育人材に対する研修の企画・立案 ・人材育成の考え方や手法 ６）活動と広報 ・ 情報公開・発信 ・個人情報の保護 ・著作権 ・地域日本語教育に関する調査 ７） 事例研究 ・問題解決能力 ・現状把握から課題設定，課題解決に向けた方略の検討 ８） 組織マネジメント ・コーディネーターの役割 （コーディネーター論・リーダーシップ論） ・地域日本語教育に関わる人材や関係機関の把握とネットワーキング ・コミュニティーデザイン	1) 学習者の背景に対する理解 ・在留資格 ・国内の在留外国人の現状 ・主な出身国の文化背景 ・来日理由，日本における生活状況など
			②異文化接触	国際協力 文化交流 留学生政策 移民・難民政策 研修生受入政策 外国人児童生徒 帰国児童生徒 地域協力 精神衛生	１）国・地域の在留外国人施策	１）日本の留学生受入施策 ・在留資格 ・法務省の告示基準 ・留学生教育の変遷	１）外国人児童生徒等 ・文化間移動 ・ライフコース	１）日本の在留外国人施策 ２）関係府省庁による日本語教育施策			
			③日本語教育の歴史と現状	日本語教育史 言語政策 教員養成 学習者の多様化 教育哲学 学習者の推移 日本語試験 各国語試験 世界各地域の日本語教育事情 日本各地域の日本語教育事情	２）「生活者としての外国人」に対する日本語教育 ・地域日本語教育 （国際交流協会等の関係団体情報）	２）法務省告示日本語教育機関の歴史と現状 ３）日本語の試験 ・日本語能力試験（ＪＬＰＴ） ・日本留学試験（ＥＪＵ） ・ビジネス日本語の試験	２）外国人児童生徒等に対する教育施策 ・特別の教育課程（個別の指導計画） ・学習権	３）日本語の試験 ４）国内外の多様な日本語教育事情			2) 多文化共生 ・地域の多文化共生施策 ・「生活者としての外国人」に対する日本語教育の目的・目標 ・地域日本語教育の実施体制と支援者の役割
		言語と社会	④言語と社会の関係	ことばと文化 社会言語学 社会文化能力 言語接触 言語管理 言語政策 言語社会学 教育哲学 教育社会学 教育制度	３）言語サービス （多言語・やさしい日本語） ４）「生活者としての外国人」の多様性 ・言語背景，文化的背景 ・言語管理・家庭内言語マネジメント ・ニーズの多様性	４）日本と海外の教育制度の違い	３）学習環境づくり ・支援体制（学校・地域） ４）地域の現状 ・多文化共生 ・エスニック・コミュニティ ・集住，散在	－			
			⑤言語使用と社会	言語変種 ジェンダー差・世代差 地域言語 待遇・ポライトネス 言語・非言語行動 コミュニケーション・ストラテジー 地域生活関連情報	５）外国人住民の社会参加 ・地域言語と共通語 ・地域生活関連情報 ・エンパワーメント ・人間関係・ネットワークを築く力 ６）「生活者」のライフステージに合わせたキャリアプランと日本語学習 ・目的に応じた学習内容 ・「標準的なカリキュラム案」	５）進路選択進学関連情報 ・キャリア教育 ・留学生の進学・就職指導	５）学校・地域・家庭の言語環境と言語使用 ・マルチリンガリズム ・生育環境 ・言語生活	５）学習者の社会参加			3）コミュニケーションストラテジー ・地域のことば ・やさしい日本語
			⑥異文化コミュニケーションと社会	異文化受容・適応 言語・文化相対主義 自文化（自民族）中心主義 アイデンティティ 多文化主義 異文化間トレランス 言語イデオロギー 言語選択	７）「生活者としての外国人」の異文化受容・適応	６）留学生の異文化受容・適応 ・異文化間トレランス ・メンタル・カウンセリング	６）多文化家族と子どもの文化適応 ・アイデンティティ ・文化適応 ・自文化中心主義	６）異文化間トレランス			4）異文化理解 ・異文化コミュニケーション
	教育に関わる領域	言語と心理	⑦言語理解の過程	言語理解 談話理解 予測・推測能力 記憶 視点 言語学習							
			⑧言語習得・発達	幼児言語 習得過程（第一言語・第二言語） 中間言語 言語喪失 バイリンガリズム 学習過程 学習者タイプ 学習ストラテジー	８）学習方法 ・学習者タイプ ・学習スタイル ・学習ストラテジー ・自律学習		７）言語習得と認知発達 ・発達段階と言語習得 ・母語，継承語，第二言語 ・生活言語能力と学習言語能力 ・言語能力の評価（ＤＬＡ等）					
			⑨異文化理解と心理	異文化間心理学 社会的スキル 集団主義 教育心理 日本語の学習・教育の情意的側面	９）日本語の学習・教育の情意的側面	７）日本語の学習・教育の情意的側面 ・青年期学習者の成長と発達	８）教育・発達心理学 ・リテラシーの発達 ・特別支援のニーズ ・社会化	７）日本語の学習・教育の情意的側面			

日本語教育人材に必要とされる教育内容の整理（案）

「日本語教育のための教員養成について」（平成１２年３月３０日）に示された日本語教員養成において必要とされる教育内容					日本語教員【初任】（活動分野別）の研修において必要とされる教育内容			日本語教員【中堅】	日本語教育コーディネーター		日本語学習支援者
					「生活者としての外国人」	留学生	児童生徒等		主任教員（留学生）	地域日本語教育コーディネーター	
コミュニケーション	教育に関わる領域	言語と教育	⑩言語教育法・実習	実践的知識 実践的能力 自己点検能力 カリキュラム コースデザイン 教室活動 教授法 評価法 学習者情報 教育実習 教育環境 地域別・年齢別日本語教育法 教育情報 ニーズ分析 誤用分析 教材分析・開発	11）各種指導法，教授法 ・地域日本語教室見学，活動参加 ・活動の振り返り 12）コースデザイン演習 ・ ニーズ分析 ・学習内容 ・ カリキュラムデザイン ・ 社会参加につながる活動の設計 ・学習・習得を促す活動 ・指導案作成 ・教材作成 13） 日本語能力の評価 ・「生活者としての外国人」の日本語能力 ・適切なレベルチェックの仕方 ・自律学習と評価 14）指導力の評価 ・分析的な振り返り ・自己点検（成長する教師） ・課題の共有 ・改善方法の検討	8）演習 ・ 対象レベル別指導法 ・ 論文・議論の指導法 ・ 指導案作成 ・ 教材作成 ・ 教室活動 ・ 評価法 ・ 自己点検 ・経験の振り返りや議論等を通じた内省力の強化（経験を通して学ぶ力の育成）	9）日本語指導のコースデザイン ・コースデザインの手順と実際 ・指導計画の策定 ・初期の指導 （サバイバル日本語，文字・語彙，文型） ・中期の指導（リテラシー（読み書き）） ・日本語と教科の統合学習 ・キャリア支援 10）参与観察・実習（模擬授業を含む） ・ 実習（授業・教室活動・現場の参与観察あるいは支援活動） ・ 現場へのフィードバック 11）内省 ・実践の内省 ・事例を通した内省 ・対話を通した内省	8）目的・対象別日本語教育法 ・ファシリテーション 9）評価法 ・日本語能力評価，指導力評価，授業評価，プログラム評価 10）日本語教育プログラム及び教育環境デザイン			5）地域日本語教育の多様性 ・地域の日本語教室の見学 ・学習者及び支援者との交流 6）日本語学習支援 ・発話調整 ・傾聴 ・学習支援の流れ ・学習支援のリソース
			⑪異文化間教育とコミュニーケーション教育	異文化間教育 多文化教育 国際・比較教育 国際理解教育 コミュニケーション教育 スピーチ・コミュニケーション 異文化コミュニケーション訓練 開発コミュニケーション 異文化マネージメント 異文化心理 教育心理 言語間対照 学習者の権利			12）異領域との協働 ・地域の関連機関の視察 ・異領域の関係者との交流	11）課題解決に向け，異領域と協働する力の養成など			7）コミュニケーションスキル
			⑫言語教育と情報	教材開発 教材選択 教育工学 システム工学 統計処理 メディア・リテラシー 情報リテラシー マルチメディア	10）「生活者としての外国人」のための教材・教具のリソース ・教材利用・作成と著作権	9）留学生のための教材・教具のリソース 10）著作権 11）統計処理（テスト・評価・成績管理）	13）児童生徒等のための教材・教具のリソース ・教材・教具（リソース）の作成 ・著作権	12）ＩＣＴを活用した教材作成 13）著作権			
	言語にかかわる領域	言語	⑬言語の構造一般	一般言語学 世界の諸言語 言語の類型 音声的類型 形態（語彙）的類型 統語的類型 意味論的類型 語用論的類型 音声と文法	－	－	－	－			
			⑭日本語の構造	日本語の系統 日本語の構造 音韻体系 形態・語彙体系 文法体系 意味体系 語用論的規範 表記 日本語史	－	－	－	※【中堅】日本語指導者には，日本語指導能力とは別に以下の能力が求められる。 ○マネジメント能力 （セルフマネジメント・ラーニングマネジメント・チームマネジメント） ○事務・管理能力 ○人材育成能力 ○ネットワーキング力			8）日本語の構造
			⑮言語研究	理論言語学 応用言語学 情報学 社会言語学 心理言語学 認知言語学 言語地理学 対照言語学 計量言語学 歴史言語学 コミュニケーション学	－	－	－				
			⑯コミュニケーション能力	受容・理解能力 表出能力 言語運用能力 談話構成能力 議論能力 社会文化能力 対人関係能力 異文化調整能力							